

富山小学校だより



No. 20

大田市表現ダンス発表会 (題材) 高原の椎木

2月15日(水)にサンレディー大田で、第40回大田市表現ダンス発表会が開催されました。表現ダンスは、さまざまなものを体の動きで表現する運動で、体育の時間に学習します。本年度も昨年度に続き、全校児童で参加しました。全校の22人の子ども達は、ステージ上で、体全体を大きく使い、指先まで神経を集中させて、ゆったりとした動きや力強い動きなど、堂々と表現でき、素晴らしい発表でした。また、2月19日(日)の「田んぼの学校」(三世代交流会)の時にも発表させてもらい、温かい大きな拍手をいただきました。



【高原の椎木(植栽の時の写真)】

本年度の題材・テーマは、大田市指定の天然記念物である樹齢400年の「高原の椎木」でした。本年度は、「巨木を訪ねる会」の皆さんとの交流会や記念事業としての「サツキの植栽」があり、子ども達にとって「高原の椎木」は、これまで以上に大きな存在となりました。「富山の宝物」「自分達を見守ってくれている木」というような存在だと思います。ですから、本年度の表現ダンスの題材は、子ども達の考え・希望で「高原の椎木」に決定しました。

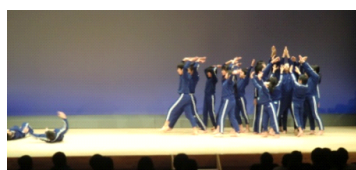


【全校児童で表現した「高原の椎木」】

子ども達は、「高原の椎木」と関わってきたことの想いを大切にしながら、様々な動きをつくりだし、教員がアドバイスをし、動きが完成しました。全校の子ども達の気持ちが一つになり、練習も本番も本当によく頑張りました。



【芽が出て、根が張っていき、木が大きくなっていく様子】



【激しい台風と台風に耐えている木の様子】



【台風が過ぎ去り鳥が羽ばたいている様子】



【時が流れていくイメージを表現】

子ども達にとって、そして私達職員にとって、一生心にのこるような素晴らしい思い出となりました。

三世代交流 「田んぼの学校」

2月19日（日）は大変な雪となりましたが、ふるさとづくり21推進協議会の皆様、富民会の皆様、まちづくりセンターの皆様、保護者の皆様にご指導をいただき、子ども達は「竹とんぼ」や「水鉄砲」などの竹細工をさせてもらいました。富民会の皆様とふるさとづくり21推進協議会の皆様には、当日の材料や道具などの準備をしていただき、お陰様で充実した活動をさせてもらいました。誠にありがとうございました。

昔は、子ども達は普段の生活で、ナイフを使って鉛筆を削ったり遊び道具を作ったりしていました。しかし、現代は鉛筆削りの道具が普及したり、お店屋さんでいろいろなおもちゃを買うことができるようになったりして、子ども達がナイフなどの道具を使うことが減ってきました。学校の授業の中でも、ナイフを使うことはほとんどありません。ですから、当日のような活動がなかったら、子ども達は、竹とんぼなど昔から伝承されているおもちゃを自分で作ったりそれで遊んだりする経験なしで、大人になっていくことも考えられます。当日の活動は、子ども達にとって大変貴重な体験となりました。

子ども達にとって、ナイフで竹を削るのは難しい活動でしたが、少しずつ慣れていき最初よりも上手になっていきました。ご家庭でも機会があったら、このような活動をしていただくと、子ども達のナイフの使い方が上達していくと思います。ナイフなどの道具はけがの危険があるので、十分に気をつけないといけません。安全に使う技術も身に付けることが大切だと思います。

